

■操作研修会を踏まえたご質問・ご意見

	質問・意見	回答・対応方針
国内動態	1 分析ではないのですが、Excelでダウンロードしたあとの扱いに時間がかかったりしているのに困っています。	表のデータをExcelでダウンロード後、グラフ等への変換や資料化の編集に時間がかかっていることと理解しました。ダッシュボード内で表を図やグラフに変換する際、思った通りのグラフになってくれない、見やすいグラフになってくれないことやグラフ化に制限があることはこちらでも承知しております。 すぐの対応・反映は難しいのですが、見やすさ・使いやすさについては、引き続き機能改修なども視野に入れながら、検討してまいります。
	2 自県区分の使い分けについて、県内（居住者除く）のみ、県内（居住者）のみの上手な使い分けを教えてください。例えば秋田市内の人出を見ようとした場合、居住者を除くと秋田市内の人が全て除かれることになるかと思いますが、秋田市内の人でも市内の観光スポットや宿泊施設を利用する人が多く存在するかと思いますし、秋田市内在住者の数が他市町村に比べ非常に多いため、その数に大きく左右されるかと思っています。	一例にはなりますが、確認したいスポットの特徴を考慮した使い分けを提案します。 例えば、道の駅のようなスポットでは、産直施設が併設されていたりすることで、市内在住者の日常的な利用がなされている場合もあります。その際には「居住者を除き」、おおそではあります。立寄者と日常利用者を分けて傾向を把握することが可能と考えます。 例示いただいたような事例のように、市内居住者をその他の利用者と区別する必要がなく、同じ利用者と考えたとすれば、大きく県内・県外での区分で考えることが良いと思われると思います。
	3 実際のDMP画面を使用して解説頂きつつ、受講者に対してもDMPを開いて受講してもOKとの呼びかけがあったが、解説画面でDMPが固まってしまう、操作内容が掴み切れなかった。あくまで東観推様の解説者のみDMPを開いていただくと画面が固まることも少なかったのではないかと考える。	ご不便をおかけして大変申し訳ございませんでした。 国内動態の特性上、処理するデータ量が多く、一度に同じダッシュボードを使用した場合固まってしまうことがあるという事象を確認しました。 次回以降の研修等の場面では、こうした事態も予測した上で内容を検討したいと考えております。
海外動態	1 スポット数が足りないので増やしてほしいです。増やすためにどのくらい費用が掛かるか知りたいです。	スポット数が足りないということについては、各自治体担当者を中心に多くのお声を頂戴しております。来年度、観光庁の補助事業を活用しながら約100スポットを目指して増設することを計画しています。増設の際には、各自治体を通じて意見聴取を行うと考えておりますのでご承知ください。また具体的な費用については、正価で10スポットあたり80万円/年と聞いているところです。継続購入の場合、毎年この費用が生じます。 なお、同じく継続的な観測の観点から、入替のご要望も全て対応できるものではないことはご理解ください。
	2 スポットの入れ替えも可能と伺っていますが、依頼した場合、どのくらい時間を要するのか知りたいです。	移動や入替えは、原則暦年区切りで対応しております。継続的に定点観測できることを大きな目的としておりますので、随時の対応とはならないことをご理解ください。
	3 少人数だと個人情報保護の観点から数字が無視されて「0」になると聞きました。東北観光DMPでは団体の数字に強いことは理解しているので、FITの動きを知るためにおすすめの分析ツールがあれば教えてください。よろしく願いいたします。	まず前提として、訪問者の全数を正確に把握できるデータの取得方法はないことをご理解いただければと思います。いずれも一定の制限の下で収集したデータを、実際の数字に近づける処理を行って対応しているものとなるため、FITのように少数になりやすい訪問者は把握することが難しいデータとなっております。 加えて、東北・新潟は全国と比べて分かるように、インバウンド訪問者の絶対数がまだ多いとは言えず、東京などと比較すると集計に誤差が生じる可能性が高いエリアでもあります。個人情報保護の必要が比較的少ないデータを取り扱っている事業者もありますが、その場合データの収集方法が異なるため、サンプル数が少なくなりデータの誤差にはより注意が必要なものとなり得ます。 こうした一長一短ある中ではありますが、結論としてはFIT旅行者をデータだけで把握することは現時点では非常に難しく、アンケートや宿泊データを併用して、双方を補完しながら確認いただくことが、最も穴のないデータとして活用できる方法ではないかと提案します。
	2 インテージとagoopの違いによるかと思いますが、滞在数と訪問者数の言葉は使い分けがよくわかりません。もし同じものを指しているのであれば、統一した方が良いように思います。	ご意見ありがとうございます。 確かに混在した状況では分かりづらいため、語句の意味を改めて精査し対応を検討いたします。
	3 スポットの無いエリアは海外動態数値が基本的に出ないため、活用の仕方が難しい	GPS-30や31については、ご意見のとおりスポットを軸に分析するダッシュボードであることから訪問の把握が困難となっております。
消費購買	1 個人情報保護の観点から割合以外マスキングが必要であるとのことですが、正直、金額をバシッと提示出来た方が地域の人の反応も違うし説得力が増します。金額から本人を本当に割り出せるものなのでしょうか。	実際可能であるかは承知しておりませんが、データ提供元との約束事として、データの取扱い方法を定めております。クレジットカードの決済データは情報の中でも取扱いが非常に難しい情報となっておりますので、ご理解いただけますと幸いです。
	2 資料化する場合に人数や金額の表示ができないのはやはり使いづらいものかと思っています。私共としましては、観光連盟会員に情報提供する場合にも表示してはいけないものになるかと思っていますので、今のところ活用が進んでいません。内部資料とするのはOKとのことかと思いますが、具体的な使用方法としては自治体であれば、財政課に提出する資料までを想定しているのでしょうか。	ご不便をおかけしており申し訳ありません。またご理解の下での配慮いただいております、ありがとうございます。 具体的な使用については、御提示のような組織内部での活用や定期的に消費動向を把握することを想定しております。特に金額や単価の数字は出すことができませんが、推移や伸びをグラフにしたもので数字を明示していなければ資料化可能です。 制限の中での使用をお願いすることになり、申し訳ありませんがご理解いただけますと幸いです。

全体を通して	1	以前も開催していた、他団体・DMOの東北DMPの活用事例の紹介の研修会・報告会があればまた参加したいです。	ご意見いただきありがとうございます。 具体的な活用事例については、要望も多いため来年度も継続して情報共有することを計画しております。みんなで同じものを使っている点を利用した横展開は、是非進めて参りたいと考えております。
	2	今後活用していきたいと考えているが、どのように活用しているのか事例や活用方法を教えていただきたい	現在の取組としまして、過去に担当者会議等で共有いただいた活用事例については「情報ポータル」に格納しておりましたのでご参照ください。 一方で、こちらで承知している活用事例にも限りがございますので、ぜひ皆さんの活用状況を情報提供いただけますと幸いです。
	3	操作を理解したあと研修会もお願いしたいです。Excelでダウンロードしたあとのおすすめの加工の仕方、分析の仕方、成功例、失敗例など。	ご意見いただきありがとうございます。 実際の資料化を見据えた作業の情報の発信について検討させていただきます。
	4	消費購買データを発展させ、DMOのKPIとして求められている旅行消費額として使用できるデータを提供いただけたら助かります。現在は独自アンケートによる数値を使用していますが、回答者の属性に左右されるため年度によってバラつきがあり、あまり参考にならないと感じているため。	ご意見ありがとうございます。 現時点では消費購買データの公表を前提とした活用は禁止しております。 なお、公表できるデータとして観光庁「インバウンド消費動向調査」などがあります。今後東北観光DMPにおいても、こうした実際に活用できる消費データを格納することを検討してまいりたいと思っております。 引き続き活用しやすいデータを検討してまいりますので、ご理解いただけますと幸いです。